

高松市立木太小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

心豊かで、創造性に富み、心身ともにたくましい児童の育成

【本校の課題】

握力・シャトルラン・長座体前屈など、8種目中6種目において県平均を下回っている。

日頃運動している児童としていない児童の二極化。

【現状】

休み時間等には元気に外で遊んでいる児童が多い。しかし、休みの日などに外で遊んでいる児童は少ない。また、運動クラブに入っている児童は日頃よく運動しているが、入っていない児童は、学校の体育の時間等に体を動かすだけに終わっている。

【取組み】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
活動	集団行動		水泳			鉄棒			なわとび		マラソン	
内容	5分間運動（握力をつける運動を中心に）											
内容	「讃岐っ子パワー」				みんなでチャレンジ				挑戦！			
内容	・体力テスト	・運動会 ・クラスマッチ	・水泳練習開始 ・クラスマッチ	・水泳記録会		・陸上練習開始	・陸上記録会		・クラスマッチ			・クラスマッチ

5分間運動

体育の授業の始めの5分間に、体力テストの結果から、特に握力をつける動きを中心に運動を取り入れ、体力向上を目指す。

- ①教師が提案して、学級全体で行う。
- ②自分が伸ばしたい力について判断し、主体的に運動を選んで行う。

「讃岐っ子パワー みんなでチャレンジ」

- ①チャレンジ種目やグループ種目から挑戦したい種目を選び、みんなで力を合わせて記録に挑戦することを通して、運動への親しみや集団で関わる楽しさや喜びを味わうとともに体力の向上を図る。（1年間）
- ②教科体育、朝の活動、休み時間等を利用して行う。

水泳

- ①各学年の到達目標を設定し、教科体育で指導する。
- ②めあてを達成した児童には、賞状を渡すなど、学年団で工夫して賞賛する。
- ③水泳教室（実施計画参照）を行い、泳げる児童の底辺拡大を図る。

鉄棒・なわとび・持久走（マラソン）

- ①実施方法
 - ア 教科体育で重点的に指導し、安全に気をつけて取り組む。
 - イ 教科書あるいはカードを活用し、意欲化を図る。（鉄棒カード、なわとびカードは、体育部が作成し、全校生に配布する。）

クラスマッチ

- ①クラスマッチの種目・方法は学年団で決定し、年間に3回程度実施する。
- ②学年団で賞賛し合う。

【目標】

- (1) 心身の発達や運動能力に応じて、一人一人がめあてをもって体力を向上させようとする態度を育てる。
- (2) 友だちと協力したり、励まし合ったり、時には競争や挑戦をしたりしながら、運動をすることで運動に対する楽しさや喜びを味わわせる。
- (3) 活動場所や時間・用具の使い方などのきまりを守って、安全に活動する態度を育てる。